

各位

上場会社名 株式会社 ニッピ
 代表者 代表取締役社長 伊藤 隆男
 (コード番号 7932)
 問合せ先責任者 経理担当常務取締役 河村 桂作
 (TEL 03-3888-5117)

平成26年3月期第2四半期業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年5月15日に公表しました平成26年3月期第2四半期(累計)業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、最近の業績動向を踏まえ、平成26年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	800	600	500	44.32
今回修正予想(B)	20,612	1,029	995	479	41.63
増減額(B-A)	612	229	395	△20	
増減率(%)	3.1	28.7	65.9	△4.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	19,290	1,184	1,000	1,617	143.33

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,300	1,900	1,400	800	70.91
今回修正予想(B)	40,300	2,000	1,700	900	78.15
増減額(B-A)	—	100	300	100	
増減率(%)	—	5.3	21.4	12.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	37,829	1,902	1,708	1,292	114.60

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,700	500	500	41.84
今回修正予想(B)	12,854	671	628	52.63
増減額(B-A)	154	171	128	
増減率(%)	1.2	34.3	25.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	12,214	566	1,250	104.63

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	1,000	750	62.76
今回修正予想(B)	26,000	1,200	800	66.95
増減額(B-A)	—	200	50	
増減率(%)	—	20.0	6.7	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	24,299	948	691	57.85

修正の理由

(1)第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異理由

当第2四半期累計期間の売上高及び営業利益につきましては、コラーゲン・ケーシング事業は、国内取引及び輸出取引ともに大きく伸長し、原料などの製造コスト増があったものの、輸出取引では為替効果もあり、全体として売上高は約500百万円、営業利益は約250百万円、計画値を上回りました。

ゼラチン関連事業では、輸入原料価格の高騰とエネルギーコストの上昇による製造コスト増により、営業利益は約140百万円計画値を下回りました。

化粧品関連事業では、コラーゲン市場の環境変化や競争の激化などにより売上高が約370百万円計画値を下回り、それに伴って広告宣伝費などの経費を削減したものの、営業利益は約25百万円計画値を下回りました。

この結果、売上高は154百万円、営業利益は85百万円、計画値を上回りました。

また、経常利益及び四半期純利益につきましては、上記理由に加えて、有利子負債の圧縮を行い、支払利息が計画値を約85百万円下回った結果、経常利益は171百万円、四半期純利益は128百万円、計画値を上回りました。

(2)第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異理由

当第2四半期連結累計期間の売上高及び営業利益につきましては、個別の修正理由に加え、連結子会社において、主に有機穀物、イタリア食材、自動車用革が好調に推移した結果、売上高は612百万円、営業利益は229万円、計画値を上回る見込みであります。

また、経常利益につきましては、営業利益の増加分及び個別の修正理由などにより、計画値を395百万円上回る見込みであります。

なお、四半期純利益につきましては、親会社及び連結子会社の税金費用の見直しにより、計画値を20百万円下回る見通しであります。

(3)個別及び連結の通期業績予想の修正理由

通期の業績予想につきましては、個別、連結ともに第2四半期累計期間の業績修正を主な修正理由として、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ修正いたします。

※上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上